



## 取扱上の注意

溝幅を越える大きなバリは溝幅に入らないため対応できません。  
刃先部分は錆びやすいので雨水、湿気等に注意してください。  
電線管の錆が付着し、もらい錆による劣化が生じるおそれがあります。  
使用後のお手入れはこまめにおこなうようにしてください。  
使用しない時は劣化防止のため大切に保管してください。  
平面部の表面はすり跡が付きやすくなっておりますが、そのままお使いください。（防錆上、クリヤーコートを塗布しています。塗膜には硬度がないため、使用によりこすれて白化します。）  
グリップの樹脂材がすり減っていくため、むやみにプレートの脱着を繰り返さないでください。  
廃棄の際は各自治体の処分方法に従って処理してください。

## お手入れ

使用後は品質維持のためお手入れをおこなってください。

ブレードに付着した切りくずを柔らかいブラシ等で取り除きます。

ブレードに水分が付着している場合は乾いた布で拭き取ります。

グリップに付着した汚れは軽く湿らせた布で拭き取ります。

## その他

製品について何かお気づきの点がありましたらご連絡ください。

保証期間を納入後1年間とし、その間に製造上の不具合により問題が生じた場合は当該品のみ無償交換または修理をおこないます。ただし、取扱や力加減、保管状態により性能が大きく変わるため、製品の切れ味を保証するものではありません。

作業パターンとしては同じ溝のみ使い続けるケースが多く、その溝のみ劣化していくことが考えられます。その場合、交換用として使わない他の溝は設けずにその溝のみを配した専用特注ブレードを所望されるようお勧めします。お気軽にご相談ください。

# 電線管用バリ取り 管端末処理(パイプ端処理)用 手作業工具 バリトローナ

## 取扱説明書

バリトローナをお買い上げいただきありがとうございます。  
この説明書には取扱方法や使用上の注意事項が記載されております。  
ご使用前には必ずお読みになり、いつでも見られるよう大切に保管してください。

### 製造・販売

リードエンジニアリング株式会社

〒180-0003 東京都武蔵野市吉祥寺南町1-27-1

TEL 0422-40-6611 FAX 0422-40-9611

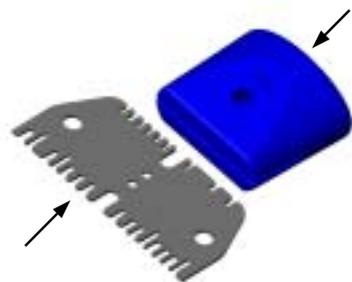
E-Mail : info@lead-eng.co.jp



## はじめに

本製品は、電線管切断面のバリを除去するためのハンドツールであり、作業場、工場ならびに工事現場での使用を想定して作られています。それ以外の特殊な環境では使用しないでください。また、取扱説明書の各項に記載された警告文、注意事項は必ずお守りください。記載内容以外の方法による使用は、全てお客様の責任においておこなってください。

## 各部の名称



ブレード  
厚み 2 mm のタガネプレート

グリップ  
2 パーツをボルト・ナット止めした樹脂材

## 製品の仕様

ブレード		グリップ	
材質	炭素工具鋼鋼材 (SK5)	材質	ABS樹脂
処理	焼き入れ (HRC55)	表面色	濃青色
大きさ	W130 × H60 × t 2	大きさ	W80 × H70 × D45
適用電線管	上辺: C19 ~ C75 (薄鋼) 下辺: G16 ~ G104 (厚鋼)	付属品	ボルト, ナット (M6) ワッシャ, プランジャ
形状	上辺, 下辺に溝を配列した「くし形」デザイン, 片側の溝を共用溝 ( ) で統一	形状	握り易いオーバルデザイン, 脱着は内部プランジャによるワンタッチ方式

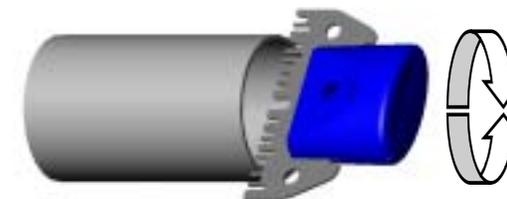
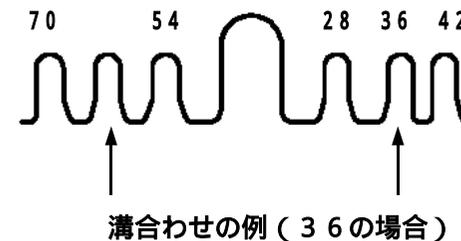
\*1 ブレードの大きさ、形状は改良のため予告なしに変更する場合があります。  
\*2 グリップの大きさは2パーツ組立時の大きさを表しています。

## 使い方

ブレードの上辺または下辺のどちらかをグリップに挿入し、はめ込みます。

刃先の溝を適合する電線管の切断面に合わせます。

片側をサイズ表記の溝に合わせ、他方を共用溝 ( 印) に合わせます。ただし 16, 22 は他方も共用溝 ( ) ではありません。



強く握り、手首を左右にツイストしてバリを除去します。異なるサイズの電線管を作業する場合は、溝位置を変えるか、もしくはブレードの上辺、下辺をグリップから脱着して付け替えます。



### 注意 (負傷のおそれ)

手袋、保護メガネを着用して使用してください。切りクズが飛散しますので注意し、対策をおこなってください。刃物として認識し、取扱に注意してください。特に端部の角 (エッジのとがっている部分) は直に触れないようにしてください。丸穴はワイヤーを通す等に利用し、落下、紛失を防止してください。



### 警告 (負傷、損害の危険)

高所作業の場合は必ず落下防止措置をおこなって使用してください。刃先に「欠け」や「ひび」が生じたものは使用しないでください。グリップに「割れ」が生じたものは使用しないでください。ボルト、ナットが緩んだ状態で使用しないでください。